

専門基礎科目〈専門基礎科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
発達心理学			17201	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	必修	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員			

### 授業の到達目標

人間の心身の発達と行動を、完成されたものとして丹念に記述するだけでなく、それが現状に至る経緯を跡付けるとともに、現在も変化あるものとして捉え、その形成を実践の中で支援することができる視点を育成する。特に以下の点を重視する。

- 1 認知機能の発達 2 自己と他者との関係の在り方と心理的発達 3 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5 高齢者の心理  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)、I(知性)、E(倫理)を養う。

### 授業の概要

人間の心身は、他者を含む環境との相互的関わりを通して発達していくことを、代表的な発達・学習理論を通じて紹介していく。また、精神活動の成立と展開にとつての初期経験の重要性、生涯発達という視点の大切さに触れながら、特に乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達等についての具体的な保育・教育実践の課題を考察する。さらに特に以下の点を重視する。

- 1 認知機能の発達 2 自己と他者との関係の在り方と心理的発達 3 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5 高齢者の心理

### 授業計画

- 1 精神機能を発生的に把握するという事 生物としての発生
- 2 精神機能を発生的に把握するという事 遺伝と環境
- 3 発達段階論とPiagetの発達理論の成立
- 4 知的精神機能の発達:感覚運動期1(新生児期)
- 5 知的精神機能の発達:感覚運動期2(乳幼児期)・運動の発達
- 6 知的精神機能の発達:前操作期1(幼児期)・言語の発達
- 7 知的精神機能の発達:前操作期2(幼児期)・認知の発達
- 8 知的精神機能の発達:具体的操作期(学童期)・動機づけ・集団づくり
- 9 知的精神機能の発達:形式的操作期(学童期・青年期以降) 学習活動の在り方
- 10 初期経験と発達:野生児の例から
- 11 対人関係と発達:愛着、社会性、遊びの発達
- 12 対人関係の発達:コミュニケーション能力の発達

- 13 発達研究における生態学的視点
- 14 発達における障害の位置づけと診断・療育
- 15 人格としての生涯発達およびまとめ
- 16

### 授業の方法

講義と単元内容に相応した発達に関連する課題に毎時間回答しながら学習を進める。

### 準備学修

講義は各回が前回を前提として進められるので、毎回の講義内容をよく復習して授業に臨むようにしてください。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

欠席は1回につき5点の減点とする

### テキスト

必要な場合授業時に指示する

### 参考図書

佐藤真子編 『人間関係の発達心理学2 乳幼児期の人間関係』培風館  
川島一夫、渡辺弥生編著 『図で理解する発達-新しい発達心理学への招待-』福村出版 2010

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
感情・人格心理学			17311	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

心理学の様々な理論、人格の形成要因や発達過程、感情が行動におよぼす影響、心の病などの視点から人格とは何かを学び、人間の個性を理解することで人間の心に関する理解を深める。「感情に関する理論及び感情喚起の機序」、「感情が行動に及ぼす影響」、「人格の概念及び形成過程」、「人格の類型、特性等」について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI(知性)とE(倫理)を学ぶ。

### 授業の概要

人間の行動の仕方には個人差があることから人格という言葉が生まれた。その複雑な個人差を測定する方法を知るとともに、人格の形成過程や人格理論、さらには不適応の問題についても学び、自己と他者のより深い理解をめざす。

### 授業計画

- 1 はじめに:人格の定義と歴史
- 2 人格を理解する観点と理論Ⅰ:理論
- 3 人格を理解する観点と理論Ⅱ:類型論
- 4 人格を理解する観点と理論Ⅲ:特性論
- 5 人格の発達Ⅰ:人格形成の要因
- 6 人格の発達Ⅱ:ライフサイクル
- 7 人格と関係性
- 8 人間関係と性格(適性)
- 9 適性とやる気
- 10 適応と不適応
- 11 パーソナリティと不適応
- 12 交流分析とTEGⅡ他心理査定
- 13 感情とは何かⅠ-感情に関する理論および感情喚起の機序
- 14 感情とは何かⅡ-感情の進化と行動に及ぼす影響
- 15 総括

### 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。また、適宜心理検査を紹介する。

### 準備学修

授業後の復習が必要である。

### 課題・評価方法、その他

定期試験(50%)、小レポート(20%)、出席状況(15%)、授業後の感想レポート(15%)

### 欠席について

欠席が5回以上で不合格とする。

### テキスト

適宜プリント資料として配布する。

### 参考図書

詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊『性格心理学への招待 自分を知り他者を理解するために』サイエンス社  
大山泰宏・佐々木玲仁『感情・人格心理学』NHK出版

### 留意事項

「授業」は授業者と学生の相互の協力のもとに成立するものであるから、学生諸君は要望、意見を忌憚なく述べて欲しい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学概論		17327	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

臨床心理学の誕生から現在までの歴史の変遷を概観し、臨床心理学の代表的な理論について学習する。その上で、臨床心理学の実際として、心理アセスメントと基本的な心理療法について学ぶ。そして最終的に、臨床心理学における基礎知識とさらに、臨床心理学的に人間を理解するという視点を獲得する事を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

本講義では、臨床心理学の成り立ちを歴史の変遷を通して概観し、その発展を支え、臨床心理学の基礎となった代表的な学者の理論（人格理論・精神発達理論）を中心に解説していく。また、実際の臨床場面において使われている心理アセスメントや代表的な心理療法についても紹介していく。そして、最終的に臨床心理学的観点から人間を理解するという点について考えてもらう。

### 授業計画

- 1 臨床心理学とは
- 2 臨床心理学の成り立ち
- 3 こころのしくみとパーソナリティ①フロイトの考え方
- 4 こころのしくみとパーソナリティ②ユングの考え方
- 5 こころの発達理論①エリクソンの考え方
- 6 こころの発達理論②クラインの考え方
- 7 こころの発達理論③マラーの考え方
- 8 こころの発達理論④ウイニコットの考え方
- 9 臨床心理学の実際－心理アセスメントについて
- 10 臨床心理学の実際－心理療法とは
- 11 心理療法①精神分析療法・分析心理学派
- 12 心理療法②クライエント中心療法
- 13 心理療法③森田療法・内観療法・遊戯療法
- 14 心理療法④芸術療法・認知行動療法・家族療法
- 15 総括・テスト

### 授業の方法

講義を中心に進めていくが、授業時間中にわからなかったところなどを確認するために、感想レポートなどの提出も適宜課していく。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

実習などの特別な欠席を除き、1回の欠席につき、2点を減点する。

### テキスト

特に決まったテキストは用いない。

### 参考図書

授業の中でその都度紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
知覚・認知心理学		17331	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士		

### 授業の到達目標

人間が身体と心を動員して環境に臨むなかで、それを知覚し、判断し、行動するシステムが機能することを、その成り立ちとともに解説し、人間が「環境内存在」であることの理解を深める。人の感覚・知覚等の機序及びその障害、また、人の認知・思考等の機序及びその障害についても理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

見る、聞く、触れる、思考する、記憶するという人間の基本的な精神機能は、常に主体と環境との連続した循環的な反応の環のなかで実現している。人間が能動的かつ協同的な存在であるがゆえに、これらの基本的な機能は実現されているということを、心理学的システムとして理解し、その成り立ちについて、進化心理学的あるいは発生心理学的な視点から考察していく。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 人間の知覚的特性：視覚
- 3 人間の知覚的特性：聴覚
- 4 人間の知覚的特性：運動感覚と認知
- 5 人間の知覚的特性：空間知覚
- 6 注意と記憶 1
- 7 注意と記憶 2
- 8 イメージ処理
- 9 言語と談話理解 1
- 10 言語と談話理解 2
- 11 推論と問題解決
- 12 思考と言語 1
- 13 思考と言語 2
- 14 社会的認知
- 15 まとめと期末テスト

### 授業の方法

講義と単元内容に相当した、感覚、知覚、文章記憶、意味表象、物語認知、出来事認知、日常の問題解決などについての課題に実験などの活動を通じて毎時間回答しながら学習をすすめる。レポート作

成が課題となる。また小テストも実施する。

### 準備学修

心理学概論で学んだ感覚、知覚、記憶、思考などの基本的な概念をよく理解しておくこと。Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

一回の欠席で3点、遅刻で2点の減点とし、5回以上の欠席は不合格とする。

### テキスト

『心理学の最先端』末田啓二編著 あいり出版 2013

### 留意事項

毎週実験を実施するため、欠席した場合は必ず補習を受け、実験レポートを提出すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学統計法		17339	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
安岡 勇輝	選択	2			

### 授業の到達目標

心理学で用いられる統計手法の基本的な技法とその考え方を、心理学的な領域のデータを扱いながら、自ら活用できるような力を養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

心理学研究の解析手法を支える統計学について、その理論的な意味と、統計に関する基礎的な知識について解説する。講義は、できる限り具体的なデータを学生が扱い、実際の統計の手法について触れ、記述統計から推測統計まで、処理プロセスと統計手法、個々の概念について学んでゆく。

### 授業計画

- データの性質について①
- データの性質について②
- データの表現
- 代表値と散布度
- 標準化とは何か
- 相関係数とは何か①
- 相関係数とは何か②
- 標本と母集団①
- 標本と母集団②
- 統計的仮説検定の考え方①
- 統計的仮説検定の考え方②
- ノンパラメトリックな検定
- 平均値の差の検定
- データの分散と条件の比較
- 試験

### 授業の方法

講義と単元内容と相応した、確率、変数の性質、データ分布、代表値、散布度、標準化、相関係数、カイ二乗検定、t検定など具体的な計算や検定作業を行いながら、レジメと教科書を用いて学習を進める。

### 準備学修

事前に記述統計の基本について、復習しておくこと。授業ごとに、教科書とレジメを読み込み、毎日20分程度、予習・復習すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出る事。

### テキスト

山田剛史・村井潤一郎 2004 よくわかる心理統計 ミネルヴァ書房

### 参考図書

石村貞夫 1993 すぐわかる統計解析 東京図書  
 吉村寿夫 1998 本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 北大路書房  
 田中敏・山際勇一郎 1992 ユーザーのための教育心理統計と実験計画法 教育出版  
 南原風朝和 2002 心理統計学の基礎 有斐閣

### 留意事項

本講義では「統計学入門」を履修しておくことを前提として進める。講義では電卓を使用することがあるので準備しておくこと。授業は教科書にそって進めるため、教科書を購入すること。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学実験		17342	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

心理学研究のとりわけ実験的な手法について、問題と目的の設定、実験計画の方法、実験手続き、結果の処理、考察にいたるまでのプロセスを学ぶ。実験実習を通して「実験の計画立案」と「統計に関する基礎的な知識」について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

知覚から記憶までの広い範囲にわたる基礎的な実験心理学の課題に、学生各自が実験者・被験者となって取り組みながら、その手法を学んでいく。各実験毎にレポートを課す。各実験とレポートの書き方、説明とがワンセットになっているので、いずれか一方を欠席するとレポートは書けないことになるので注意すること。

### 授業計画

- オリエンテーション
- 心理学実験と統計の基礎知識
- 知覚1ーミューラー・リヤー錯覚
- 知覚2ーミューラー・リヤー錯覚
- 認知・学習1ー鏡映描写
- 認知・学習2ー鏡映描写
- 記憶と忘却1
- 記憶と忘却2
- 要求水準1
- 要求水準2
- イメージの測定(SD法)1
- イメージの測定(SD法)2
- 社会的促進1
- 社会的促進2
- まとめ

### 授業の方法

主に実習（実験）形式で行う。

### 準備学修

平均値の求め方を復習しておく。各実験レポートを作成する。(10時間)

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

適宜配布する。

### 留意事項

結果の処理にあたり、各自電算機を用意しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学実習（心理テスト法）		17375	Ⅲ	春	※15名（他学部生含む）
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	1	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、小・中スクールカウンセラー（神戸市）		

### 授業の到達目標

心理臨床現場（保健所、児童相談所、病院など）における幼児期の発達状況を捉え発達検査や心理判定の際に役立つ基本的な心理検査について知り、身につけることを目標とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

各心理検査の意図を理解し、各心理検査において検査場面を想定したロールプレイを行い、検査者と被検査者のそれぞれを体験し、検査の実施方法や検査結果のまとめ方を学び、身につける。課題ごとに検査結果の所見をレポートにして提出する。

### 授業計画

- 1 はじめに 心理テスト概論
- 2 心理検査法実習の復習
- 3 P-Fスタディ①
- 4 P-Fスタディ②
- 5 文章完成法 SCT
- 6 内田クレペリン作業検査
- 7 新版K式発達検査④
- 8 新版K式発達検査⑤
- 9 WISC知能検査④
- 10 WISC知能検査⑤
- 11 バウムテスト
- 12 風景構成法
- 13 スクイグル法
- 14 箱庭療法①
- 15 箱庭療法②・統括・期末テスト

### 授業の方法

実習形式で行い、検査結果を分析し、所見をレポートで提出させる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

実習なので、基本欠席は認めない。

### テキスト

授業中に資料配布する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

定員20名までとし、超過する場合は資格取得予定者を優先する。レポート課題の提出は、実習の翌週とする。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学的支援法		17383	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	1	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

本授業では、心理学的支援とは何かについて学ぶ。代表的な心理療法並びに、カウンセリングの歴史、概念、意義、について学び、さらにそれらの適応及び限界についても触れる。その際、適宜事例も紹介していく。また、今後ますます必要になってくると思われる訪問による支援や地域支援の意義、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援の重要性についても学ぶ。そして、心理学的支援を行う上で必要な、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について、プライバシーへの配慮に触れながら実習などを通して学ぶ。心の健康教育の重要性についても考える。このクラスでは、海星パーソナリティのK（思いやり）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

心理学的支援について、①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応、及び限界、②訪問による支援や地域支援の意義、③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、④プライバシーへの配慮、⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、⑥心の健康教育、を中心に講義と実習（グループワーク、ペアワーク）を通して心理学的支援とは何かについて学ぶ。

### 授業計画

- 1 心理療法とカウンセリング①
- 2 心理療法とカウンセリング②
- 3 心理療法とカウンセリング③
- 4 心理療法とカウンセリング④
- 5 信頼実習
- 6 助言の実習
- 7 心理学的支援におけるプライバシーへの配慮
- 8 地域支援と訪問支援
- 9 「宝探しの地図」実習
- 10 心理学的支援を要する人の関係者に対する支援
- 11 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション
- 12 コンセンサスの実習
- 13 「共感」実習
- 14 「純粋性」実習
- 15 心の健康教育

### 授業の方法

講義と実習（グループ、ペア）を中心とする。実習の後には振り返りを行い、それを基にレポートを提出してもらう。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①グループ実習やペア実習の後には、講義の中で振り返りを行い、レポートの提出を求める。
- ②平常点70%、定期試験30%にて評価を行う。

### 欠席について

連絡なしの欠席は大幅な減点の対象とする。

### テキスト

特に用いない。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学研究法			17387	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

心理学における基礎的な研究方法には様々な方法がある。本講義は「心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）」、「データを用いた実証的な思考方法」、「研究における倫理」について学ぶ。実証的な研究方法、データの分析、研究倫理の基礎を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

主に心理学における研究方法の基礎知識について学ぶ。研究計画を立て、データを分析し、考察を加えるという基本的な研究の流れと各研究方法について学び、研究する力を養う。

### 授業計画

- 1 心理学における研究
- 2 心理学研究の基礎知識
- 3 先行研究の調査
- 4 研究法の概説 量的研究
- 5 研究法の概説 質的研究
- 6 心理統計法1
- 7 心理統計法2
- 8 実験法
- 9 調査法
- 10 観察法
- 11 面接法
- 12 研究倫理1
- 13 研究倫理2
- 14 研究のまとめ方
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。  
平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

三浦麻子 著『心理学ベーシック第1巻 なるほど！心理学研究法』北大路書房

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会・集団・家族心理学			17399	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

人は社会の中で生き、他者から影響を受ける存在である。本講義は「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」について学ぶ。対人関係や集団、人の態度に関わる心の働き、文化や社会から人が受ける影響について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

主に社会心理学と家族心理学の基礎知識を身につける。集団や対人関係、人の態度に関わる心理学的な知識を学ぶ。また、文化や社会から人が受ける影響について学ぶ。最も身近な集団である家族と家族に関わる心理についても学ぶ。

### 授業計画

- 1 社会心理学とは
- 2 認知と感情
- 3 自己概念と自己評価
- 4 ステレオタイプ
- 5 態度と態度変化
- 6 対人関係
- 7 集団と個人1
- 8 集団と個人2
- 9 組織と個人
- 10 集団行動
- 11 心と文化1
- 12 心と文化2
- 13 家族という集団
- 14 家族の心理
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。  
平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

池田謙一・唐沢 穰・工藤恵理子・村本由紀子 著『社会心理学補訂版』有斐閣

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳幼児心理学		17445	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渡邊 恵梨佳	選択	2			

### 授業の到達目標

乳幼児期の運動・知覚・認知・知性・言葉・社会性・遊びの発達について学ぶ。乳幼児期の発達過程における基本的な理論や知識を身につけ、乳幼児に対する理解を深める。また、人の一生の中で乳幼児期がどのような時期なのかについて考察を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

保育者として実践にかかわる際に、子どもの発達理論の基礎と、発達をとらえる視点を身につけておく必要がある。そのため、この授業では特に乳幼児期の身体・運動、認知、言語発達の過程について、新生児や乳幼児が獲得する能力の豊かさと多様性についての知識を深めるとともに、環境構成された保育場面で対人的な相互作用に着目しつつ学びを深める。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション:子ども観・保育観と発達
- 2 子どもの発達と環境
- 3 子どもの身体的機能と運動の発達
- 4 子どもの情動や感情と社会性の発達
- 5 乳児期の知覚・認知発達
- 6 乳児期の感覚運動発達
- 7 乳幼児期の言葉の獲得と発達
- 8 子どもの心理的な発達(心の理論)
- 9 幼児期の認知発達(思考と行動)
- 10 子どもの自己中心性
- 11 発達障害の理解と心理①ASDと療育
- 12 発達障害の理解と心理②SLDとADHD
- 13 対人的なコミュニケーションを通じた発達
- 14 子どもの特性に応じた学びの体験や環境の構成
- 15 子どもの発達課題と学びを支える保育者の役割や対応

### 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

学内規定に準ずる。

### テキスト

適宜配布する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
学習・言語心理学		17447	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

人は言語を獲得することを通して、思考や行動の統制、気持ちを表現する力を身につける。本講義は「人の行動が変化する過程」と「言語の習得における機序」について学ぶ。人が新たに行動を獲得する心理学的な理論及び、言語を獲得する発達過程、言語の持つ力、心理学のナラティブ理論について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

子どもの行動の学習とことばの発達過程について学ぶ。前半は、人が新しい行動を身につける過程を示した学習理論や、動機づけ、認知について学ぶ。後半は、言葉の発達過程を中心に、言葉と自己、思考、行動のコントロールについて学ぶ。また、言葉に関わる心理学の分野であるナラティブについても学ぶ。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 学習理論1
- 3 学習理論2
- 4 学習理論と動機づけ
- 5 自己とことば1
- 6 自己とことば2
- 7 ことばの発達1
- 8 ことばの発達2
- 9 ことばの発達3
- 10 ことばの発達4
- 11 思考とことば
- 12 行動のコントロール
- 13 ことばを育むために
- 14 ことばにおけるナラティブ理論
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に、具体例を紹介しつつ、基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

### 準備学修

毎日30分程度、予習・復習を行う。

### 課題・評価方法、その他

- 振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。  
平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

松川利広監修 横山真貴子編著 『子どもの育ちとことば』教育情報出版

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
障害者・障害児心理学			17783	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

## 授業の到達目標

本講義では、障害をもつ子どもたちへの教育、障害理解のための心理社会的知識、特別支援教育の在り方を学ぶことを目的としている。「身体障害、知的障害及び精神障害の概要」と「障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援」について、特別支援教育の観点から学ぶ。このクラスは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）を考える。

## 授業の概要

特別支援教育の制度、背景、どのような取り組みがなされているのかを学ぶ。それだけでなく、障害理解のために必要な専門知識を身に付ける。それらを踏まえ、子どもの一生涯における発達と教育の在り方について考える。

## 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 特別支援教育の現状
- 3 視覚障害の理解と特別支援教育
- 4 聴覚障害の理解と特別支援教育
- 5 言語障害の理解と特別支援教育
- 6 知的障害の理解と特別支援教育
- 7 発達障害の理解と特別支援教育 1
- 8 発達障害の理解と特別支援教育 2
- 9 肢体不自由の理解と特別支援教育
- 10 それぞれの障害の理解と特別支援教育 1
- 11 それぞれの障害の理解と特別支援教育 2
- 12 特別支援教育の変遷
- 13 生涯発達支援について 1
- 14 生涯発達支援について 2
- 15 まとめ

## 授業の方法

講義形式を中心に、受講者が実際の教育現場でどのように実践するかを考える時間を設ける。

## 準備学修

毎日テキストを30分程度、読む。

## 課題・評価方法、その他

考える時間を設けた後は、担当教員からフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

## 欠席について

学内の規定に従う。

## テキスト

高橋 智 編著『インクルージョン時代の障害理解と生涯発達支援』（日本文化科学社）

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育実習指導（小学校）	教職小		17785	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	1	公立小学校教員			

## 授業の到達目標

小学校で教育実習を行う責任と心構えを認識するとともに、実習に必要な知識・技術を身に付ける。また、教育実習の成果と課題を振り返り、さらに身に付けるべき知識や技能等について理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

## 授業の概要

教育実習に必要な基礎的・基本的な知識、教育現場の現状や実習中の心構え等について講義を進める。また、具体例や実践を通して、小学校教師の様々な仕事と職責について学ぶ。

## 授業計画

- 1 受講の心構え・授業内容についてのガイダンス、小学校教育実習を受ける前に
- 2 実習校との事前打合せ、小学校の組織と日程
- 3 実習中の心得（勤務、礼儀、言葉遣い、服装、持ち物）
- 4 実習中の心得（学級経営、給食指導、休み時間）
- 5 児童や教職員との接し方
- 6 実習記録の書き方
- 7 学習指導と生徒指導
- 8 算数科模擬授業（低学年）
- 9 算数科模擬授業（高学年）
- 10 教育実習の成果と課題
- 11

## 授業の方法

書く活動と発表を多く取り入れる。

## 準備学修

テキストの指定ページを予習したり、指導案を作成したりしておくこと。詳細については、Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

- ①指導案と模擬授業について、評価とアドバイスをを行う。
- ②評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

## 欠席について

欠席は10点減点し、遅刻は3点減点する。

## テキスト

石橋裕子・梅澤実・林幸範『小学校教育実習ガイド』萌文書林

## 参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説』東洋館出版社

## 留意事項

小学校教育実習の知識や技術を修得し、教師としての心構えを学ぶ授業であることを認識して授業に臨むこと。

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。